



キーの予備 寸法 (キー材寸 法)bXh	滑動形		普通形		締込(打ち込み形)	t1の 基準寸法	t2の 基準寸法	t1及びt2 の許容差	参考	説明
	b1	b2	b1	b2	b1及びb2				適応する 軸径 d	
	許容差 (H9)	許容差 (D10)	許容差 (N9)	許容差 (Js9)	許容差 (P9)					
2X2	+0.025	+0.060	-0.004	±0.0125	-0.006	1.2	1.0	+0.1	6~8	最もよく使われる平行キーで キー溝の公差として使われている (JIS・ISO)公差表を作りました
3X3	0	+0.020	-0.029		-0.031	1.8	1.4	0	8~10	
4X4	+0.030	+0.078	0	±0.0150	-0.012	2.5	1.8		10~12	
5X5	0	+0.030	-0.030		-0.042	3.0	2.3		12~17	
6X6						3.5	2.8		17~22	
(7X7)	+0.036	+0.098	0	±0.0180	-0.015	4.0	3.3	+0.2	20~25	キーで使われる規格は右の 表の通りですが、それ以外の 公差でも加工できます。
8X7	0	+0.040	-0.036		-0.051	4.0	3.3	0	22~30	
10X8						5.0	3.3		30~38	
12X8	+0.043	+0.120	0	±0.0215	-0.018	5.0	3.3		38~44	
14X9	0	+0.050	-0.043		-0.061	5.5	3.8		44~50	
(15X10)						5.0	5.3		50~55	
16X10						6.0	4.3		50~58	
18X11						7.0	4.4		58~65	
20X12	+0.052	+0.149	0	±0.0260	-0.022	7.5	4.9		65~75	
22X14	0	+0.065	-0.052		-0.074	9.0	5.4		75~85	
(24X16)						8.0	8.4		80~90	適応する軸径は、キーの強さ に対応するトルクから求められて いるもので、一般的な目安です。 キーの大きさが伝達するトルクに 対して適切な場合、適応する 軸径より太い軸でも良いですが t1・t2の深さを調節するほうがよい。 良く軸径に対して適応するキー幅 より大きいキーを使う方が強いと 思い、(例えば軸径12・に6巾) 大きくする場合がありますが、品質、 加工費から見てしない方が良く 思いま。
25X14						9.0	5.4		85~95	
28X16						10.0	6.4		95~110	
32X18	+0.062	+0.180	0	±0.0310	-0.026	11.0	7.4		110~130	
(35X22)	0	+0.080	-0.062		-0.088	11.0	11.4	+0.3	125~140	
36X20						12.0	8.4	0	130~150	
(38X24)						12.0	12.4		140~160	
40X22						13.0	9.4		150~170	
(42X26)						13.0	13.4		160~180	
45X25						15.0	10.4		170~200	
50X28						17.0	11.4		200~230	
56X32	+0.074	+0.220	0	±0.0370	-0.032	20.0	12.4		230~260	その他解らない事があればお気軽に 問い合わせ下さい。
63X32	0	+0.100	-0.074		-0.106	20.0	12.4		260~290	
70X36						22.0	14.4		290~330	
80X40						25.0	15.4		330~380	
90X45	+0.087	+0.260	0	±0.0435	-0.037	28.0	17.4		380~440	
100X50	0	+0.120	-0.087		-0.124	31.0	19.5		440~500	